

令和6年3月1日

第11号

日本初の産金地

こがねの里 わくや

桜 風

伝統と文化を育む宮城県涌谷高等学校

つなぐ誇り 輝く未来 ～100年分の伝統と希望を胸に～

「第76回卒業証書授与式」 3月1日（金）第76回卒業証書授与式が行われました。晴れて卒業を迎えた74名が、クラス担任から3年間の思いとともに、一人ひとり呼名され、学校長より卒業証書を授与されました。PTA田畑会長からは、保護者からの思いと、社会の一員になるための温かい言葉をいただきました。卒業生代表として、西條杏星さんが保護者や先生方への感謝と後輩たちへの応援のお言葉を伝えていただきました。式の終わりに、3学年全員で保護者・在校生・教職員に向けて、「旅立ちの歌」を合唱し、高校生活の感謝の気持ちを表しました。この晴れ舞台に立つ、皆さんの未来が希望と喜びに満ち溢れたものであることを、心から願っています。



「とおだミュージックフェスティバル」

2月25日（日）涌谷町公民館会場で「とおだミュージックフェスティバル」が行われました。涌谷高校音楽部が主となり、地域の小中学校および高校の吹奏楽部、地域団体などが集まり、演奏を中心とした多彩なパフォーマンスが繰り広げられ、会場は熱気に包まれました。友情出演いただいた「サムライアパートメント」のみなさんとのコラボ演奏も、大いに盛り上がりしました。人数制限もあり、整理券は即日配布終了となり、来場希望者の方々には、大変ご迷惑をおかけしました。参加者たちは、日頃の練習の成果を存分に発揮し、来場された観客の方々は素晴らしいパフォーマンスに感動しました。



「働く人に聞いてみた！」 2月2日（金）、進路選択は、生徒にとって難しい選択です。そこで、実際に働く人にインタビューを行い、進路選択の手掛かりとして、希望する職業の方に聞いてみました。今回は、「ウェディングプランナー」に興味がある生徒が、Web会議システムを通して、普段は見えない仕事の内容、なぜその仕事を選んだのか、やりがいや苦労などの話を聞きながら、将来を考える機会になりました。進路指導部では、生徒が希望する職種の方々を招き、直接会話をしながら、適した進路選択できるようサポートしています。

「能登半島被災地支援派遣」



1月23日(火)～27日(土)まで、能登半島地震被災地支援のため「災害時学校支援チームみやぎ」として、本校の津守教諭が石川県の教育現場へ、宮城県より派遣されました。現地に向かうにあたり、被災地の生徒・児童たちに向け、明日への希望が持てるように、本校生徒一人ひとりが、心を込めて書きとめた応援メッセージを横断幕として託しました。また、生徒会として、今できる支援を考え、一日も早く現地の方が元の生活に戻るよう、校内での募金活動を行いました。能登半島の被災地の皆さんに心からのお見舞いを申し上げます。

「ピアノ連弾コンサート」

2月9日(金)
(6校時)音楽室で音楽Ⅱ受講生徒による、「ピアノ連弾コンサート」を行いました。2人で協力してピアノを演奏するため、より豊かな音楽表現が体験できます。生徒達は、自分たちの個性を活かした音楽になるよう、練習を重ね表現しました。畑山愛莉さんと、鈴木日和さんは、テンポが少し速いディズニー映画「リトルマーメイド」の挿入歌を楽しく演奏してくれました。



「創作ダンス発表会」

2月6日(火)、7日(水)、1年生と2年生の体育の授業において、創作ダンスの発表会を行いました。生徒たちが主体的にテーマを決め、振り付けを工夫して表現する、貴重な機会です。生徒たちは、ダンス発表を目標に、グループで個性を活かしながらチームワークを大切し、繰り返し練習して完成度を高めました。ダンスを通して、協調性や創造性を育みながら、表現することによる達成感や喜びを味わうことができました。



「みやぎ高校生フォーラム」



1月25日(日)、県庁県民ロビーにおいて、「みやぎ高校生フォーラム」が行われ、県内の高校生約200名が集まり日々の学習や経験を通じて育んできた志や将来への思いについて発表や意見交換を行いました。

ポスターセッションでは、2学年の和田京太郎さんが、「私たちの志と地域貢献」の内容について、本校で行ってきた「幼稚園絵本読み聞かせ」や「青い鯉のぼりプロジェクト参加」など、地域と連携したボランティア活動及び防災活動について発表しました。学校ごとの様々な活動を共有し、自らが社会で果たすべき役割を

【3月の予定】

- 1日(金) 第76回卒業証書授与式
- 5日(火) 入学者選抜試験日
- 11日(月) みやぎ鎮魂の日
- 14日(木) 入学者選抜合格発表
- 22日(金) 修業式
- 26日(火) 新入生予備登校
- 29日(金) 離任式

3月は、ひなまつり

